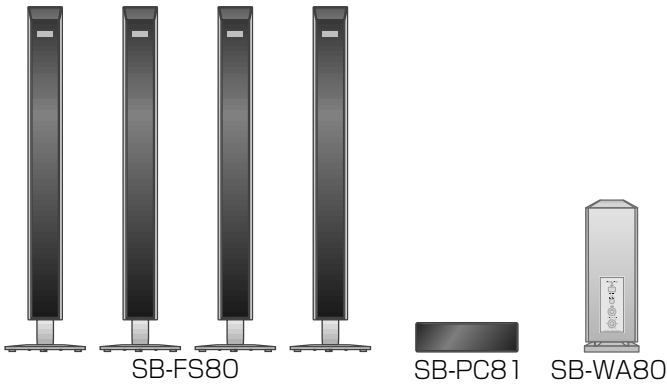
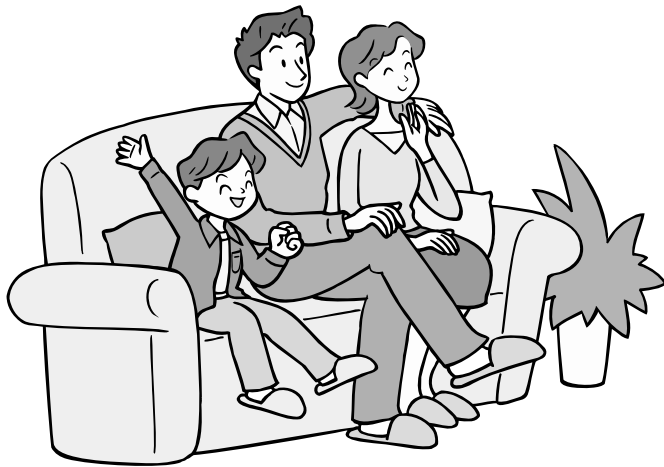
防磁設計 社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

Panasonic

取扱説明書
スピーカーシステム

品番 SB-TP80

このたびは、スピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（13〜14ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

■スピーカーシステム SB-TP80の構成

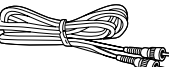
スピーカーシステム	SB-FS80×4台
スピーカーシステム（SB-CW80）	SB-PC81×1台
	SB-WA80×1台

- スピーカーシステム（SB-FS80）は4台とも同じです。フロント（左、右）、サラウンド（左、右）スピーカーとしてご使用ください。
- スピーカーシステム（SB-PC81）はセンタースピーカーとしてご使用ください。
- アクティブサブウーハー（SB-WA80）はサブウーハーとしてご使用ください。

保証書別添付　　上手に使って上手に節電

付属品・部品の確認

まず最初に付属品・部品を確かめてください。

SB-FS80用

□スタンドパネル組立品 2本
(スピーカーコード 約4 m)
(RYQV0080AS)

□スタンドパネル組立品 2本
(スピーカーコード 約10 m)
(RYQV0080S)

□スタンドベース................................ 4個
(RYQX0247S)

□スタンド・ベース取り付けネジ... 12本
(RHDX50004)

□スライドプレート............................ 4個
(RYQV0082)

付属の部品は、SB-FS80スピーカーシステムに取り付けるための専用部品です。この取り付け以外にはご使用できません。

SB-PC81用

□スピーカーコード（約4 m）........... 1本
(REEX0501B)

SB-WA80用

□電源コード....................................... 1本
(RJA0012-K)

□ピンコード（約5 m)....................... 1本
(RJL1P015B50)

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
(　)内は買い替え時の品番です。
品番は2005年12月現在のものです。

設置のしかた

■よりよい音響効果を得るための設置

スピーカーの設置方法によっては、低音の量や音像定位など、音質が変わる場合がありますので、以下のことを参考にして設置してください。

- 平らで安定した場所に設置してください
- 床、壁、コーナーに近づけて設置すると低音が増えます
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛けることをおすすめします
- フロントスピーカーを視聴位置に向けると、よりクリアーな音質になります。

■設置上のお願い

次のような設置場所は避けてください

- 直射日光のあたる場所など温度が高いところ
- 振動の多いところや湿気の多いところ

磁気の影響を受けやすいものは、近づけないでください

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

テレビに色ムラが生じた場合、テレビとの距離を離す

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム<防磁設計（JEITA）>※ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 分～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- テレビの種類や画面の大きさによっては、画面へ影響する場合があります。テレビから離してご使用ください。

※「防磁設計（JEITA）」とは社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

■設置例

視聴位置からフロント Ⓐ Ⓑ ／センターⒸ／サラウンドⒹ Ⓔ の各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。
なお、角度はあくまでも目安です。

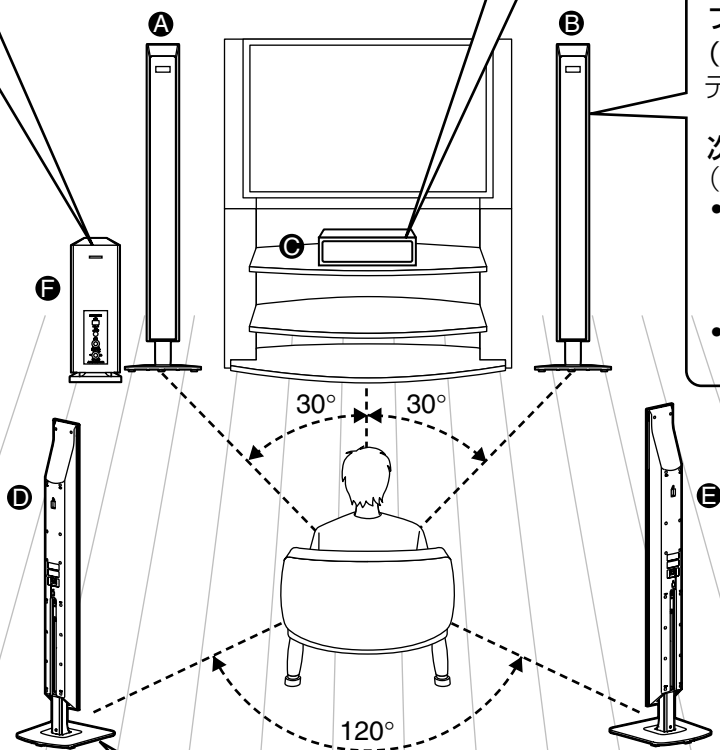
センタースピーカー（Ⓒ ：SB-PC81）
テレビの真上か真下に設置してください。ただし、直接テレビの上に置くと、振動によりテレビ画面が乱れることがありますのでラックや棚などに設置してください。

次の設置方法ができます。（☞7ページ）
- 台や床に置く設置ができます。
- 壁掛けができます。

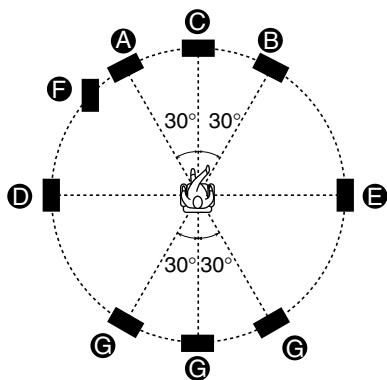
アクティブサブウーハー（Ⓕ ：SB-WA80）
後面側に5 cm以上の空間が空くように設置してください。
置く場所によって低域の周波数特性が変化します。部屋の隅に置くと音量が増加します。
- 壁掛けできません。床に置いてください。

フロントスピーカー
（Ⓐ左、Ⓑ右：SB-FS80）
テレビの左右に設置してください。

次の設置方法ができます。
（☞4～6ページ）
- スタンドタイプに組み立て・設置ができます。
  プラズマテレビなどに合わせ高さ調節ができます。
- 壁掛けの組み立て・設置ができます。

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ
30°　30°
120°

サラウンドスピーカー
（Ⓓ左、Ⓔ右：SB-FS80）
視聴位置の左右横またはやや後ろに設置してください。

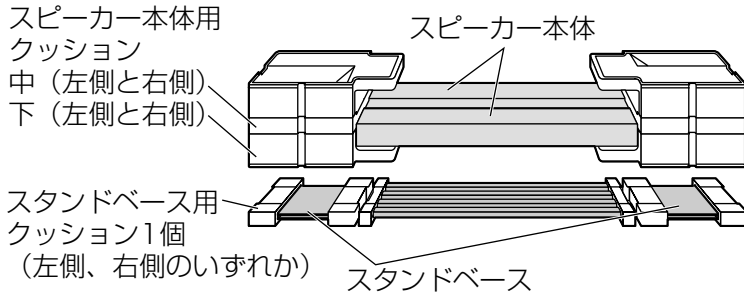
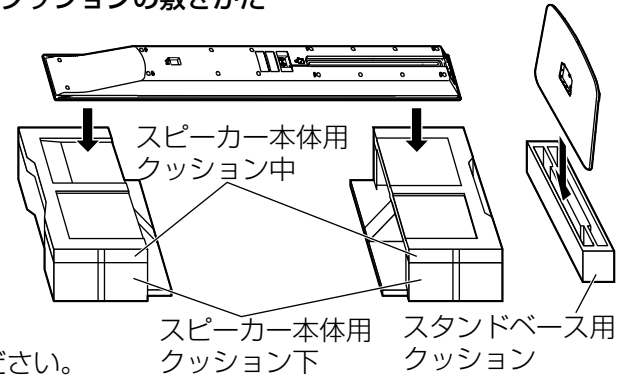
次の設置方法ができます。（☞4～6ページ）
- スタンドタイプに組み立て・設置ができます。
  高さ調節ができます。
- 壁掛けの組み立て・設置ができます。

■サラウンドバックスピーカーⒼ（別売）を設置する場合

- **サラウンドスピーカー（Ⓓ左、Ⓔ右：SB-FS80）**
  視聴位置の左右横に設置します。
- **サラウンドバックスピーカー（Ⓖ ：SB-PC70A）（別売）**
  1台の場合：視聴位置の真後ろで、1 mほど高く設置してください。
  2台設置する場合：視聴位置の30°後方で、1 mほど高く設置してください。

組み立て・設置について

フロントおよびサラウンドスピーカー（SB-FS80）をスタンドタイプに組み立てる

- スピーカー本体前面のネットに無理な力を加えないでください。前面のネットは取り外しができません。
- 包装ケース内のクッションを下に敷くと安定した作業ができます。スピーカー本体のネット側を下向きに置きます。

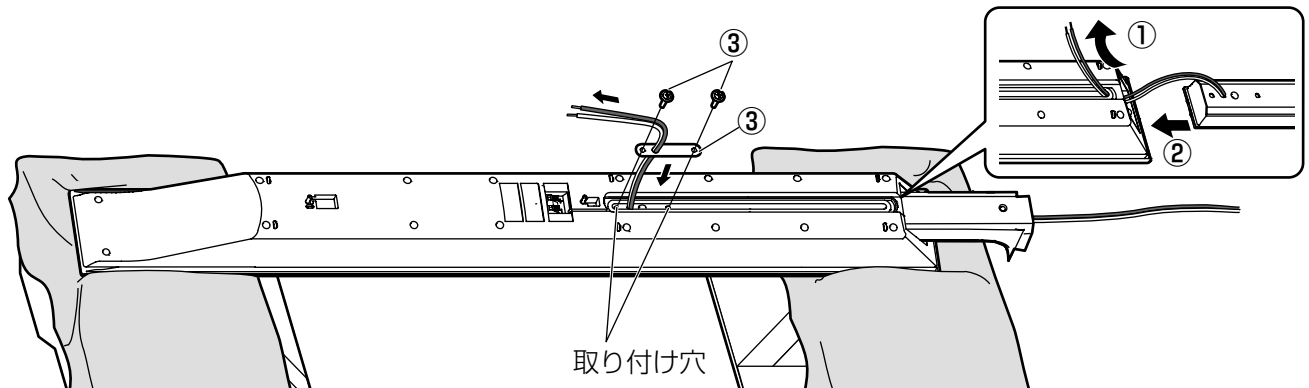
使用するクッション

クッションの敷きかた

傷付き防止のため必ず布などを敷いてください。

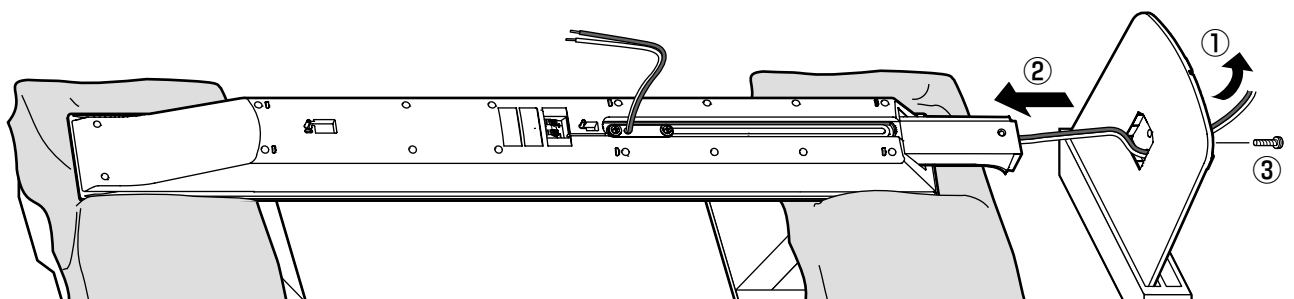
- 各作業でのネジ止めは、ゆるみのないようしっかり締めてください。

1 スタンドパネル組立品（付属）をスピーカー本体に取り付ける

- スタンドパネル組立品（スピーカーコード 約4 m）：フロントスピーカー用
  スタンドパネル組立品（スピーカーコード 約10 m）：サラウンドスピーカー用

① スピーカー本体を置き、コードの先端をスピーカー本体のスライド溝から出す
② スタンドパネル上端をスピーカー本体の下部穴から奥まで差し込む
- コードを引っぱりながら、スタンドパネルを差し込んでください。

③ スライドプレート（付属）をコードの先端から通し、スタンド・ベース取り付けネジ2本（付属）でスタンドパネルの取り付け穴に仮止めする

2 スタンドベース（付属）を取り付ける

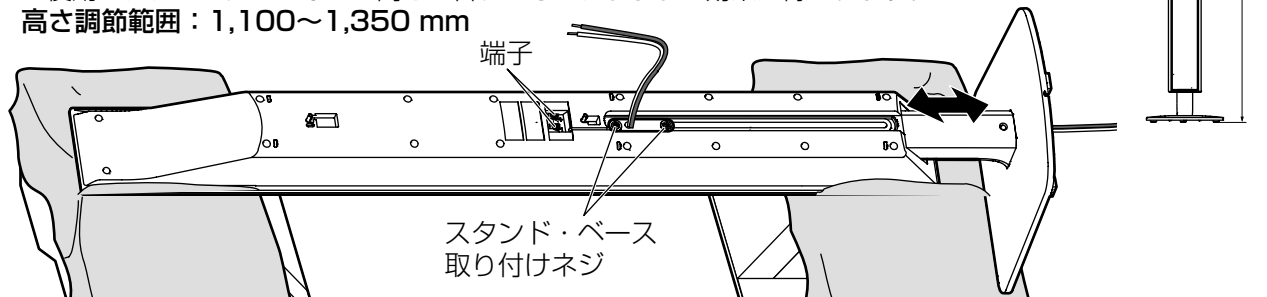
① スタンドパネル組立品のスピーカーコードをスタンドベースの大きな穴から通す
② スタンドベースをスタンドパネル組立品の奥まで差し込む
③ スタンド・ベース取り付けネジ1本（付属）でスタンドベースを取り付ける
- しっかり締めてください。

組み立て／接続に必要な付属品・部品	□ スタンドパネル組立品（コード約4 m）	□ スタンドパネル組立品（コード約10 m）	□ スタンドベース	□ スタンド・ベース取り付けネジ	□ スライドプレート

3 スピーカー高さを設定する

高さ調節は、下図のように置いて行ってください。

スタンドベースを移動してスピーカー高さを決め、スタンド・ベース取り付けネジ2本をしっかり締める

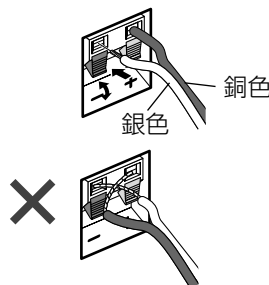
- ご使用のプラズマテレビなどの高さに合わせると、よりよい効果が得られます。
  高さ調節範囲：1,100～1,350 mm

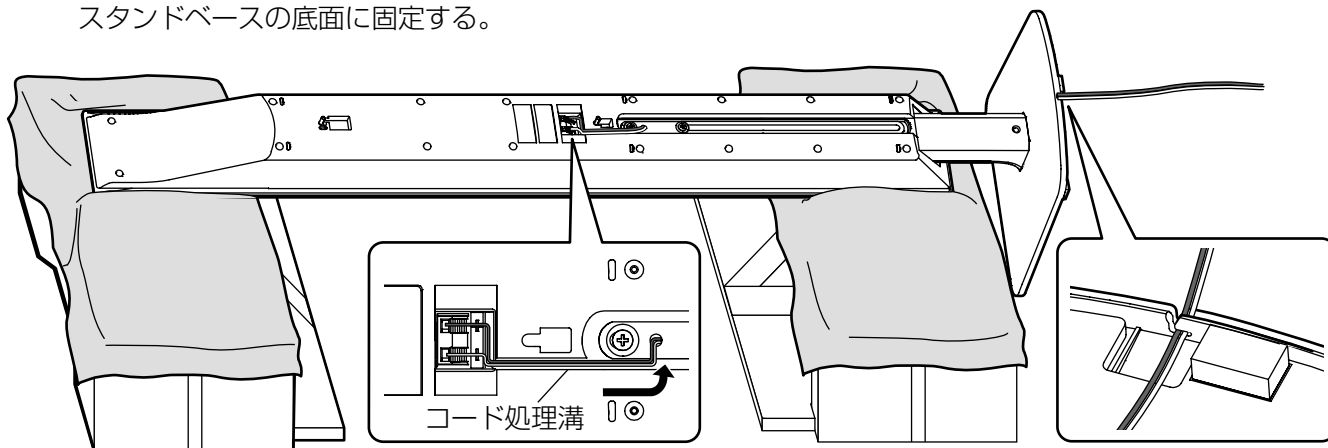
高さ

4 スピーカーコードを端子に接続する

スピーカーコードの色をご確認の上、正しく接続してください。
誤った接続をすると故障の原因になります。

端子の穴が見えるまでレバーを押し、芯線を差し込んで離す

お願い

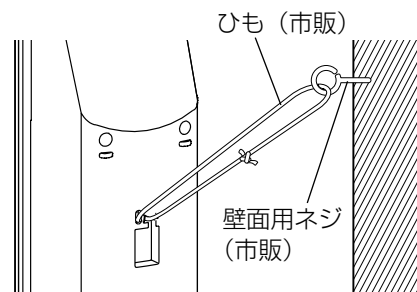
- スピーカーコードの銅色側(＋)と銀色側(－)は絶対にショートさせないでください。

5 スピーカーコードをスタンドベースの底面に固定する

- 余ったコードを押し込みながらスタンドベースの底面側から引き出し、コード処理溝にはめ込んで、スタンドベースの底面に固定する。

転倒防止用ワイヤーを取り付けるには

スピーカー後面の穴にひもを通し、壁面用ネジ（市販）で壁に固定してください。

お願い

取り付ける壁には、30 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

取り付け例

組み立て・設置について

組み立て・設置について

フロントおよびサラウンドスピーカー（SB-FS80）を壁掛けする

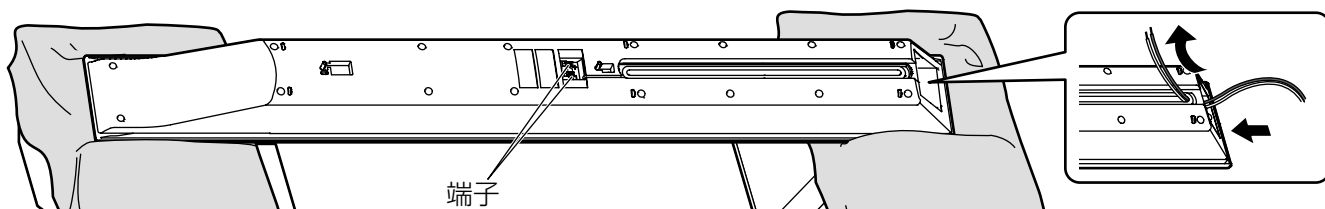
- スピーカー本体前面のネットに無理な力を加えないでください。前面のネットは取り外しができません。
- 包装ケース内のクッションを下に敷くと安定した作業ができます。スピーカー本体のネット側を下向きに置きます。（☞4ページ）
  傷付き防止のため必ず布などを敷いてください。

組み立て／接続に必要な付属品・部品	□ スタンドパネル組立品（コード約4 m）　□ スタンドパネル組立品（コード約10 m）

1 スタンドパネル準備品（付属）から、コードを抜き取る

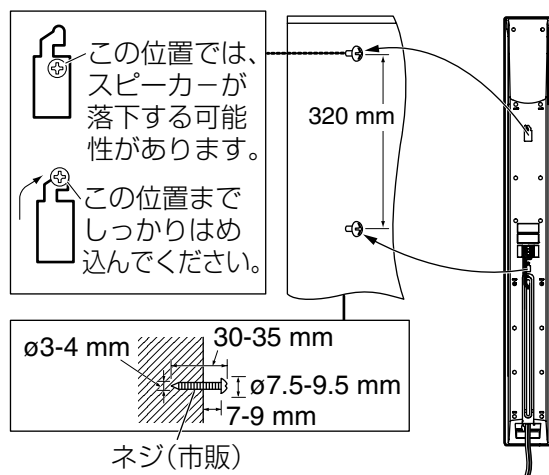
- スタンドパネル準備品（コード約4 m）：フロントスピーカー用
  スタンドパネル準備品（コード約10 m）：サラウンドスピーカー用
- 出ているコードを押し込みながら、引っぱってください。

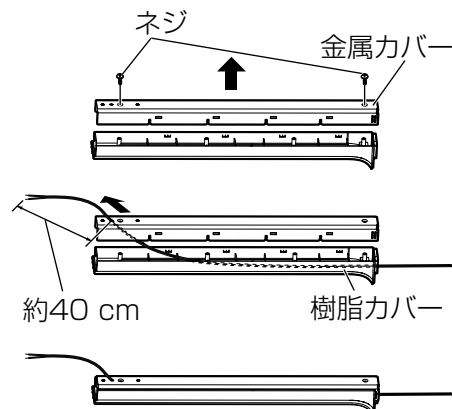
2 コードをスピーカー本体の下部穴から通し、端子に接続する

- 端子への接続は、☞5ページの手順4を参照してください。

3 余ったコードをスピーカー本体の下部から引き出し、コード処理溝にはめ込んで壁に掛ける

- コードの処理は、☞5ページの手順5を参照してください。

お願い

取り付ける壁には、15 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

■壁掛けしたスピーカーシステムをスタンドタイプに組み立てるには

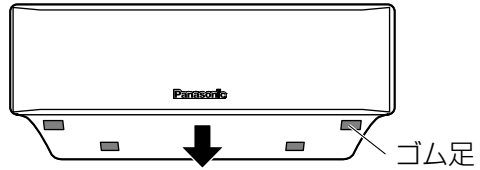
1. スタンドパネル準備品をお買い上げ状態に戻す
   ①コードのないスタンドパネル準備品のネジ2本を取り外し、金属カバーを取り外す
   ②コードを金属カバーの穴から約40 cm引き出し、樹脂カバーに入れる
   ③コードを挟まないように金属カバーをはめ込み、ネジ2本を取り付ける
   - ネジ2本をしっかり締めてください。
2. スタンドタイプに組み立てる（☞4～5ページ）

ネジ
金属カバー
約40 cm
樹脂カバー

センタースピーカー（SB-PC81）を取り付ける

- スピーカー本体前面のネットに無理な力を加えないでください。前面のネットは取り外しができません。
- 各作業でのネジ止めは、ゆるみのないようしっかり締めてください。

組み立て／接続に必要な付属品・部品	□ スピーカーコード（約4 m）

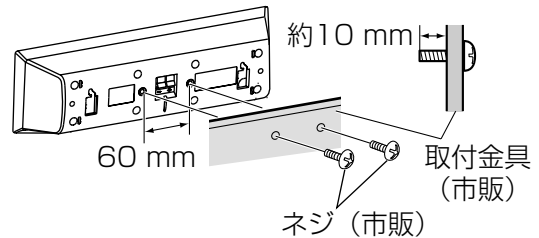
■台や床に置くには

振動による移動や転倒を防ぐために、ゴム足（4個）貼り付け面を底面として設置してください。

■うしろからネジ止め可能な市販の取付金具に取り付けるには

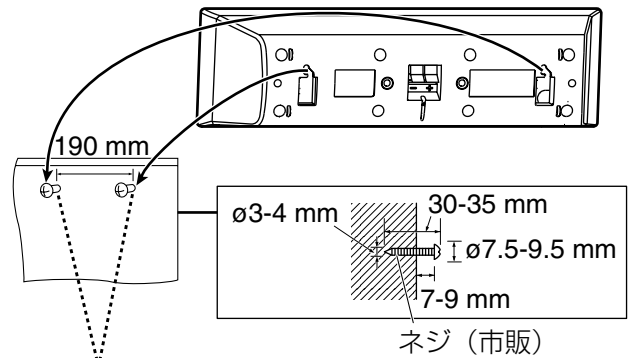
お願い

取付金具や設置する台は、10 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

プラズマテレビ台をお買い求めの場合は

専用台のガラス棚上段に置いてご使用ください。
- プラズマテレビ台には取り付けできません。

■壁掛けするには

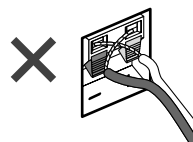
お願い

取り付ける壁には、10 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

スピーカーコード（付属）の接続

スピーカーコードの色をご確認の上、正しく接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。

端子の穴が見えるまでレバーを押し、芯線を差し込んで離す

お願い

- スピーカーコードの銅色側(＋)と銀色側(－)は絶対にショートさせないでください。

アンプへの接続のしかた

アクティブサブウーハー（SB-WA80）を接続する

■接続できるアンプ

サブウーハー用のピンタイプ出力端子を備えたアンプ（別売）に接続できます。このアンプ以外の機器には接続できません。

■接続

- 接続の前にアンプの電源を切ってください。
- 全てのコードを接続した後に、電源コードを接続してください。

センター

スピーカーコード（約4 m、付属）

アクティブサブウーハー

電源コンセント（AC 100 V 50/60 Hz）

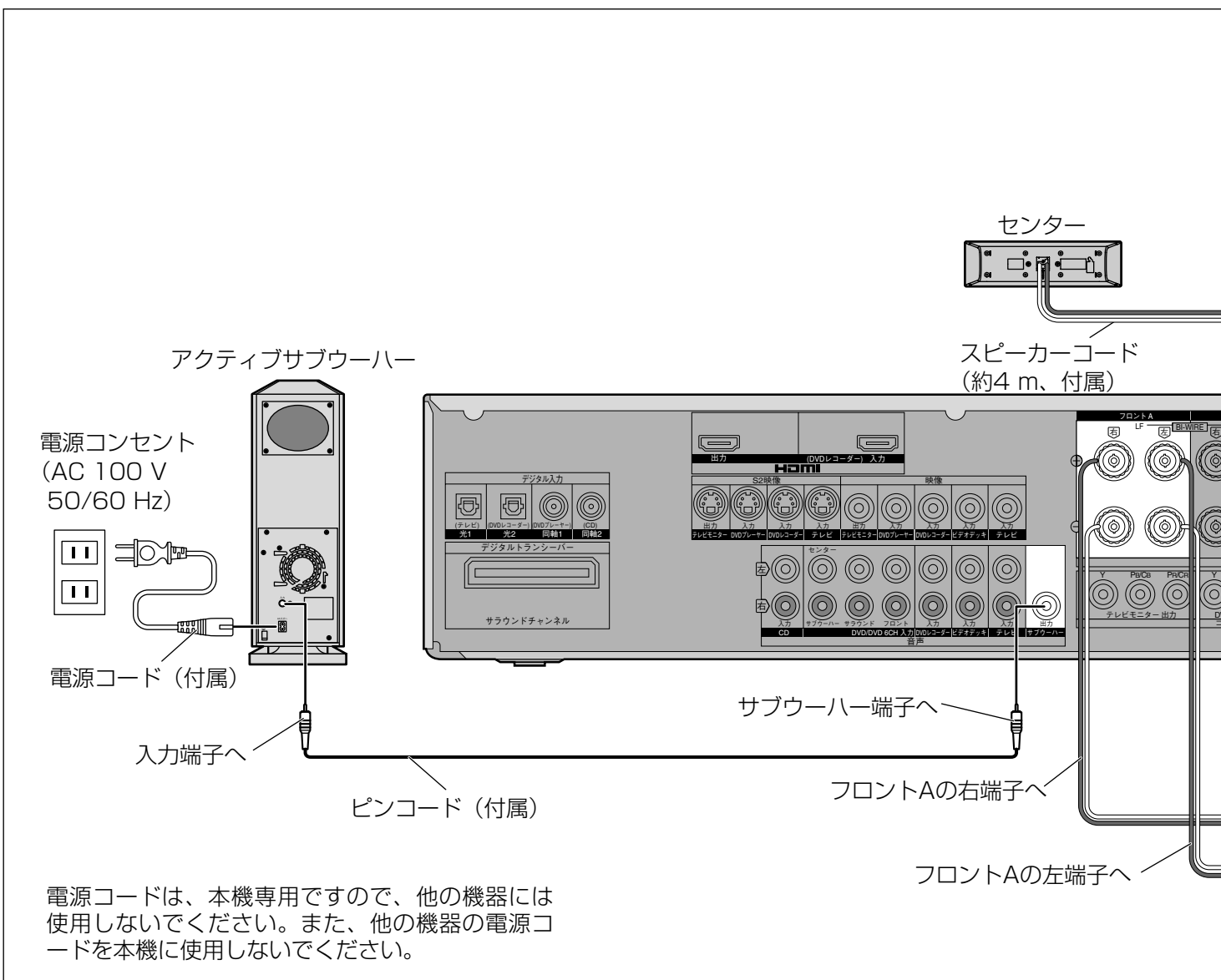
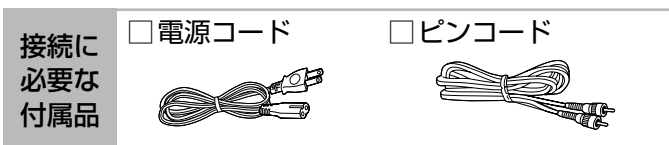
電源コード（付属）

入力端子へ

ピンコード（付属）

サブウーハー端子へ

フロントAの右端子へ

フロントAの左端子へ

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

フロントおよびサラウンドスピーカー（SB-FS80）、センタースピーカー（SB-PC81）を接続する

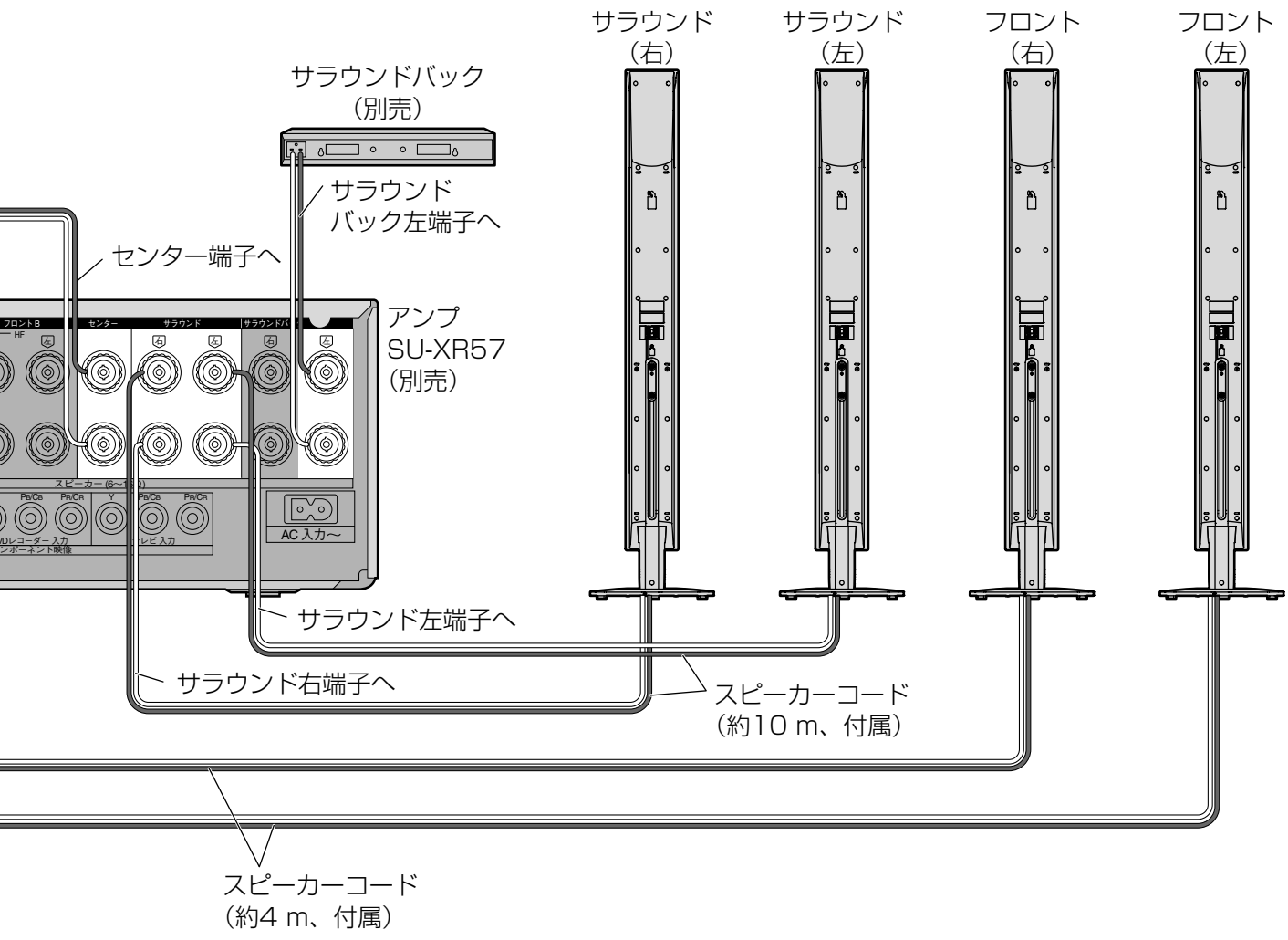
■接続できるアンプ

本機のインピーダンスと許容入力に適合したアンプ（別売）が必要です。
- 本機のインピーダンス：6 Ω
- 本機の許容入力：100 W（RATED）※

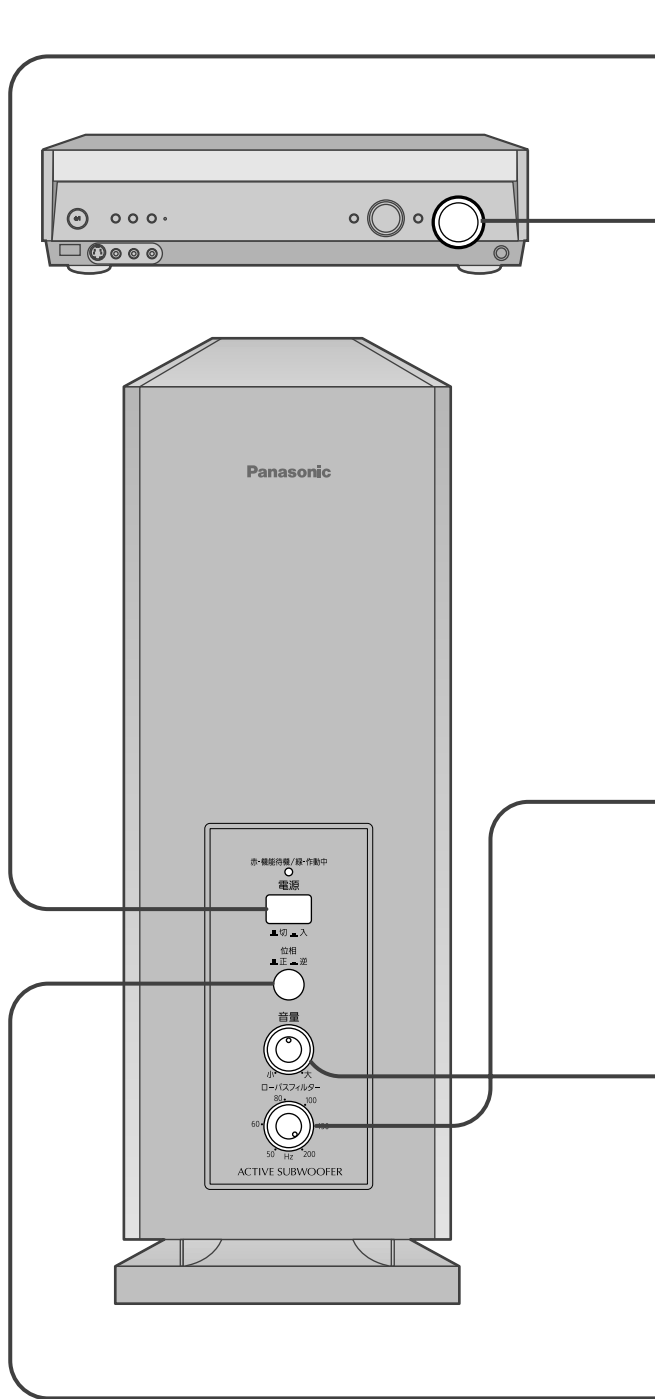
下記定格に適合したアンプに接続できます。このアンプ以外の機器には接続できません。
- インピーダンスが6 Ωのスピーカーに適合したアンプ
- 定格出力が100 W（インピーダンスが6 Ωのとき）またはそれ以下のアンプ

この定格以上のアンプを使用すると、過大入力による異常音が発生したり、アンプやスピーカーが破損したり、火災の危険が生じる場合があります。もし、破損が生じたり演奏中に異常が生じたときは、システムの電源コードを抜いて専門のサービスマンにご相談ください。
なお、アンプによっては複数の定格出力を記載しているものがありますのでよくご確認ください。
※国際電気標準会議（IEC）の基準に準拠した定格入力値を表しています。

■接続

- 接続の前にアンプの電源を切ってください。

- スピーカーコードを接続した状態でスピーカーを移動しないでください。ショートなどの原因になることがあります。
- スピーカーコードの配線処理は、束ねてひもでくくるなどして、確実に行ってください。

アクティブサブウーハーの使いかた

アクティブサブウーハーは、人の耳が低音域において方向感覚を感じにくいことを利用し、重低音をモノラルで再生します。
スピーカーシステムと組み合わせると、低音域が増強されます。

1 ［電源］を押して“▂ 入”にする

- 電源が入り、電源ランプが点灯（緑色）します。

2 接続したアンプなどを操作して音を出し、フロントスピーカーなどの音量を調節する

- アンプ等の取扱説明書をご覧ください。

お願い

アンプ側で低音を増強し過ぎないでください。
アンプ側で低音を増強すると音がひずみやすくなります。

お知らせ

アンプのボリュームを最小位置にした状態、またはアンプからの信号がない状態が約8分間以上続いた場合には、自動的に入力待機状態（電源ランプは赤色に点灯）になります。アンプのボリュームを上げたとき、またはアンプからの信号が入ると自動的に動作状態（電源ランプは緑色に点灯）になります。
但し、接続するアンプからのノイズ等の影響により動作状態を継続する場合があります。

3 ［ローパスフィルター］を回して、本機が再生する周波数領域を調節する

- 周波数特性変化（☞右記）を参考にしてください。
- 接続したアンプで、サブウーハーの周波数領域を調節する場合、本機は“200 Hz”に設定してください。

4 ［音量］を回して、本機の音量（低音）を調節する

- 最小位置“小”から徐々に回し、フロントスピーカーなどとバランスが取れるように低音がひずまない範囲で調節してください。
- レベル変化（☞右記）を参考にしてください。

5 本機とフロントスピーカーの音のつながりが不自然なときは ［位相］を押して、位相を切り換える

▆ 正：入力信号と出力の位相が同じ
▂ 逆：入力信号と出力の位相が逆

■2チャンネルステレオ音楽再生などのときは

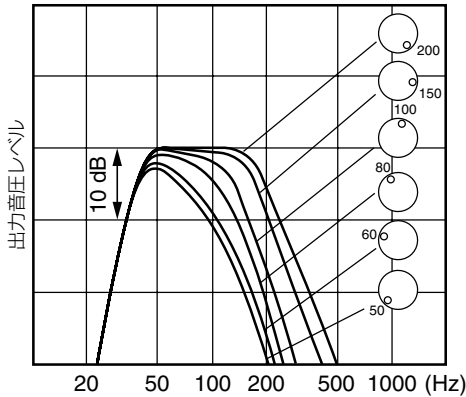
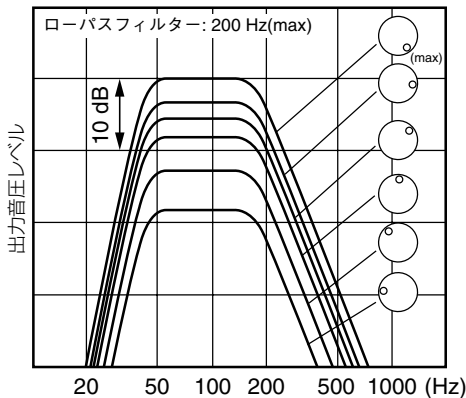
マルチチャンネル映画ソース再生時のアンプと本機の設定では低音が出過ぎる場合があります。
アンプ側でサブウーハーレベルを下げてください
また、本機の［ローパスフィルター］の周波数を下げるとより自然な音質が得られる場合があります。

■終わるときは、［電源］を押して“▆ 切”にする

- 再度使用するときは、［電源］を押して“▂ 入”にするだけで調節の必要はありません。
- スピーカーの設置を変更した場合は、再度調節をやり直してください。

■［ローパスフィルター］による周波数特性変化

■［音量］によるレベル変化

本機を接続する推奨アンプの設定について

当社のAVコントロールアンプSU-XR57（別売）の場合

下記設定を行ってからご使用ください。

- AVコントロールアンプ SU-XR57の取扱説明書「アンプの設定をする」をご参照ください。

スピーカーの有無とサイズを設定する

1.「初期設定」モードで“SPK SIZE”を選び、決定する
2. 設定するスピーカーを選び（☞下記）、決定する
3. 設定を変更し（☞下記）、決定する
4. 設定を終える

設定するスピーカー	設定項目
SUBW（サブウーハー）	YES（接続している）
LR（フロント）	SMALL
C（センター）	SMALL
S（サラウンド）	SMALL
SB（サラウンドバック）	NONE（接続していない） 1-SPK（1台接続時） 2-SPK（2台接続時）

- サラウンドバックスピーカーを1台接続時
  アンプのサラウンドバック“左”端子に接続してください。（☞9ページ）
- サラウンドバックスピーカーを2台接続時
  アンプのサラウンドバック“左”と“右”端子に接続してください。

低域フィルターの設定

1.「初期設定」モードで“FILTER FRQ”を選び、決定する
2. 低域フィルターの周波数を選び、決定する
   選択周波数：100
   （100 Hz以下の低音域をサブウーハーに出力）

主な仕様

■スピーカーシステム（SB-FS80）

型式	2ウェイ3スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	6.5 cmコーン型×2
ツイーター	6 cmリングシェープドドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力（IEC）	200 W（MAX） 100 W（RATED）
出力音圧レベル	83 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	5 kHz
再生周波数帯域	95 Hz ～ 50 kHz（－16 dB） 110 Hz ～ 45 kHz（－10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	269 mm×1100 mm (MIN) ～ 1350 mm (MAX) ×269 mm（スタンド含む） 110 mm ×1000 mm×81 mm（壁掛け時）
質量	約 5.3 kg（スタンド含む） 約 2.5 kg（壁掛け時）

■スピーカーシステム（SB-PC81）

型式	2ウェイ3スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	6.5 cmコーン型×2
ツイーター	6 cmリングシェープドドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力（IEC）	200 W（MAX） 100 W（RATED）
出力音圧レベル	86dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	6 kHz
再生周波数帯域	125 Hz ～ 50 kHz（－16 dB） 150 Hz ～ 45 kHz（－10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	320 mm×92 mm×91 mm
質量	約 1.4 kg

■アクティブサブウーハー（SB-WA80）

●スピーカー部

型式	1ウェイ1スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	17 cmコーン型
出力音圧レベル	81 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域（アンプ込み）	32 Hz ～ 300 Hz（－16 dB） 38 Hz ～ 240 Hz（－10 dB）

●アンプ部

定格出力（全高調波ひずみ率 0.9 %）	100 W（6 Ω）
入力感度/入力インピーダンス	300 mV/33 kΩ（RCAジャック）
位相切換	正／逆（切換）
ローパスフィルター	50～200 Hz 連続可変

●本体総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	140 W
寸法（幅×高さ×奥行）	162 mm×450 mm×420 mm
質量	約 10.5 kg

入力待機状態での消費電力	**1 W**

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

「**JIS C 61000-3-2 適合品**」
：JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20 A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

使用上のお願い

■フロント／サラウンド／センタースピーカー

●大きな音量で連続使用しない
スピーカー特性の劣化や寿命が極端に短くなる原因になることがあります。

●通常の使用時でも以下のような場合は、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。
- 再生音が歪んだとき
- マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わるとき
- 音質調整をするとき
- 電源ボタンを入／切するとき

●保護回路について
本機には保護回路が備わっています。アンプからの過大入力など異常な信号が入ってきたときは、保護回路が働いて自動的に信号入力が遮断されます。

- **再生中、音が急に途切れたら・・・**
  ❶アンプの音量を下げる
  ❷再生ソースや接続に異常（ショートなど）がないか確かめる
  もし異常がなければ、数分後に保護回路が解除され音が出るようになります。
- **保護回路が解除された後は・・・**
  アンプの音量を上げすぎないようにしてください。

■アクティブサブウーハー

●音量を上げすぎないでください
音量を上げすぎると、音がひずみ、スピーカーの寿命が短くなる原因になることがあります。

●保護回路について
本機には保護回路が備わっています。異常に温度が高い場所で使用したり、本機内部に異常が生じた場合、保護回路が働いて出力を遮断することがあります。
保護回路が解除されるまでには、1時間ほどかかる場合があります。

- **再生中、音が急に途切れたら・・・**
  ❶アンプの音量を下げる
  ❷本機の電源を“▄ 切”にする
  ❸使用場所の温度や接続に異常がないか確かめる
  ❹異常があれば原因を解消し、本機の電源を“▄ 入”にする
- **それでも直らない場合は・・・**
  電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

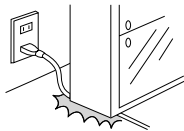
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

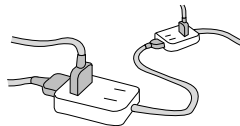
電源コードについて

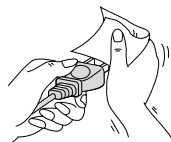
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

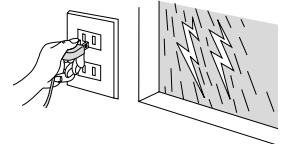
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、本機やプラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

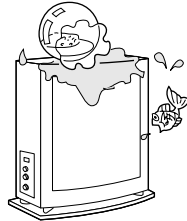
- 機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

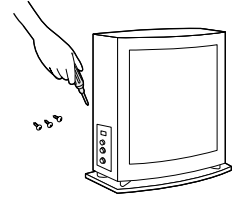
安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠警告

ご使用について

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠注意

設置・接続について

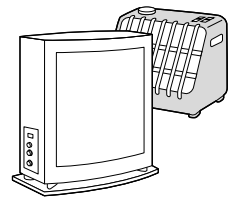
不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない（SB-FS80/SB-PC81）**
- **壁や天井に取り付けない（SB-WA80）**
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

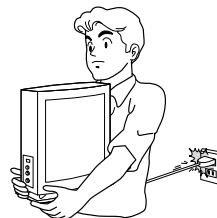
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーの許容入力を超えるアンプに接続しない

- 定格以上の出力を持つアンプに接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
（SB-FS80/SB-PC81）

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- フロント／サラウンドスピーカーのスタンドベースの上に乗って、スピーカー本体をゆらしたりしないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間
当社は、スピーカーシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	スピーカーシステム	お買い上げ日	年　月　日
品番	SB-TP80	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。http://panasonic.jp/support/

修理を依頼されるとき
もう一度取扱説明書をお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087
- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区
地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区
地域	所在地	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	(024)991-9308

首都圏地区
地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区
地域	所在地	電話
石川	金沢市横川3丁目20	(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市野村町字山神421	(059)255-1380

近畿地区
地域	所在地	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区
地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	(083)973-2720

四国地区
地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	(089)905-7544

九州地区
地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区
地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1005

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検　長年ご使用のスピーカーシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SB-TP80
販売店名	☎（　）－	お客様ご相談窓口 ☎（　）－	

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQT8570-1S
M1205TK1016